

平成25年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊西部航空方面隊

開催日及び場所	平成26年 3月 6日(木) 福岡第2合同庁舎5階 第1会議室	
委員	牧角 龍憲 (大学教授) 松藤 泰典 (大学特任教授) 諏佐 マリ (大学准教授) 清水 秀幸 (公認会計士) 増永 弘 (弁護士)	

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	平成24年 4月 1日 ～ 平成25年 3月 31日	
審議対象件数	5, 569 件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5 件	(審議概要) 地方調達 1 前々回審議の確認 陸上自衛隊 2 前回審議の確認 海上自衛隊 3 航空自衛隊の審議 ・地方調達発注実績について ・抽出事案について
一般競争	3 件	
指名競争	0 件	
随意契約	2 件	
	意見・質問	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【前々回審議の確認】 H25. 9. 10審議 陸上自衛隊</p> <p>○【昇降機設備保守】 (一般競争)(一者応札)</p> <p>・今回の1者応札リストにおける他のエレベータ保守の契約と比較すると、本契約分のみが低落札率であるため、適正な履行がなされているか判断し難い。したがって、全般を通して事故率等と含めて分析して、じ後、説明をされるようされたい。</p> <p>【前回審議の確認】 H25. 12. 19審議 海上自衛隊</p> <p>○【「ちようかい射撃指揮装置2型-21H信号処理器の改修」 (随意契約)(1者応募)</p>	<p>・管内のエレベータ保守契約全般に係る事故率等の分析の結果、低落札率と事故等に関連性はないこと及び契約の適正な履行に影響はなかったこと、また今後、十分な市価調査等を実施して、より適正な予定価格算定に努めることを説明し、了解を得た。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・「上限工数」の積算、「契約の履行確認及び契約方法」の妥当性について確認させていただきたい。</p> <p>【地方調達発注実績について】</p> <p>特になし</p> <p>【抽出事案について】</p> <p>1 [バッテリーチャージャー外] (一般競争)(1者応札)</p> <p>・同じ会社が同じような物品で契約しているのはなぜか。</p> <p>・落札率をみると同等品可の方が99.81%で、製品指定した方が95.43%となっているが、逆ではないのか。</p>	<p>・「上限工数」の積算については、同一装備品の改修実績に基づき確定契約時と同一の工数を上限として計上した。</p> <p>「契約の履行確認及び契約方法」については、特定の技術が必要であったことから公募により技術要件を満たす者を募集した。募集の結果、応募があったのは過大請求事案の当該会社1者のみであった。このため、従来は確定契約方法としていたものを契約履行後に契約履行に要した費用を調査することとした準確定契約方法を採用した。</p> <p>・新田原基地では多種多数の航空機を運用しており、これらの航空機の整備には特殊な工具等が必要である。1件は主として航空機整備上必要な工具等又は現有の工具等に適合した工具でなければならないのでこの会社の製品を指定して要求されたものであり、もう1件は同等品可として要求されたものである。結果として、同等品の申請がなく双方ともこの会社のカタログ品目のみとなり入札参加者もこの会社のみとなり、落札業者が同一業者となるに至ったものである。</p> <p>・確かに競争性のある方が落札率が低くなるように思うが、このような結果になっている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・毎年同じような工具を航空自衛隊の他基地でもこの会社から購入しているのであれば価格はそんなに変わらないのではないかと。</p> <p>・契約書の内訳書の規格はこの会社のみのものか。品名を見ると汎用性が高いようなものもあると思われる。また、非常時において、ここしかない製品を購入、使用するのは発注者側から見ればリスクがあるのではないかと。安全保障上の担保は確保できているのか。</p> <p>・航空機部品を購入していないのであれば、なおさら汎用品でも良いのではないかと。</p> <p>・工具は単体毎に購入するのではなく、一式で購入した方がよいのではないかと。</p> <p>・リベット、ネジ、ビス等は特注品か、それとも汎用品か。仮に汎用品でJ I S規格のものであれば工具はJ I S規格のものでよいのではないかと。</p> <p>・マイナスドライバーの単価は2,410円だが、ホームセンターだとより安価で販売しているのではないかと。</p> <p>・他のメーカーの工具を競争入札する場合は、公告にこの会社のカタログ名を記載しているのか、それとも何らかの番号やJ I S規格を記載しているのか。</p>	<p>・製品によって業者が納入可能な価格が変わると思われ、その結果が落札率の変動に繋がったものと考えている。</p> <p>・同等品でも可とし一般競争入札することで業者から同等品申請を促し、この会社以外の規格でも使用可能なものを模索し製品を限定することによるリスクを回避しようとしている。安全保障上考慮しなければならないような航空機部品を購入している訳ではない。</p> <p>・航空機が非常に精密かつ高額な部品を使用しており、機体及び部品の保護の観点から脱落防止等を考慮された工具でなければならないものは、製品指定せざるを得ない。</p> <p>・規格として一式となっているものもあるが、単体でしか販売していないものもある。</p> <p>・この会社専用の工具に合うリベット等は特注品となる。仮にJ I S規格のものがあるならば、それらの規格で競争している。</p> <p>・整備の現場では、この会社の工具のみではなく他のメーカーのものも使用している。</p> <p>・この会社のカタログに限定しない場合でも他の工具のカタログ名を記載している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規格にはカタログ名ではなく、品質等を記載することはできなかったのか。 ・今回の案件の品目中で航空機と一緒に飛んでいくものはどれくらいあるのか。 ・この会社でなければならないという必然性は何かあるのか。 ・品質等の確保が必要であれば、品質を明らかにした資料を整備する必要があるのではないか。初めからこの会社のカタログでは競争性がないのではないか。 ・設計図書等、型番を記載するのが一般的であるが、この会社に指定すれば機密の情報が流出しないとかあるのではないか。 ・この会社が同等品を申請してくることもあるのか。 ・この会社が倒産した場合、同等品を探すのが課題になると思われる。 <p>2 [海上輸送] (一般競争)(1者応札)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約書の内容に不備が見受けられ全般において見直す必要がある。事故が起きた場合に対応できない恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それを含めてカタログ名を記載している。 ・リベット等を除き、ないと思っている。 ・航空機の外板に穴をあける等、現有の工具に適合したものやリベットの切断面の品質等を確保するためには、この会社しかないものもある。 ・過去にこの会社のカタログ名を記載し、同等品可としたもので他の業者が同等品を申請し入札に参加した例もある。 ・そのような機密となるような事項はない。 ・申請は可能だが経費が高くなるため、あり得ないと理解している。 ・今後、検討する。 ・見直しも含め検討する。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・3,715,000円は12カ月分の金額なのか。</p> <p>・この金額で4名分の給料とメンテナンス費用を含んでいるのか、金額の算出を説明してください。</p> <p>・事故が起きた場合の補償として契約相手方に保険に入ってもらい必要がある。</p> <p>3 [公務員宿舍建具等補修その他工事] (一般競争)</p> <p>・予定価格はどのようにして算定しているのか。</p> <p>・予定価格で市価調査を採用したのはなぜか。</p> <p>・入札談合防止のため、入札説明会を実施しないことが多いのに、実施したのはなぜか。</p> <p>・契約書に契約条項が見当たらないが、違約金とかが発生した場合はどうするのか。</p> <p>・その契約条項に違約金等の定めはあるのか。</p>	<p>・ひと月の単価である。</p> <p>・固定資産一覧表を提出させ、船の減価償却費を考慮し、人件費は予定価格の算出根拠にある法律に基づき毎月の基本給、期末勤勉手当、超過勤務手当、休日給等を考慮して積算している。</p> <p>・必ず船舶保険等に入るように仕様書に明記している。</p> <p>・市販されている公共建築工事積算基準、経済調査会から発行されている積算資料等を基に算出している。</p> <p>・市販されていない扉等の価格について業者調査価格を採用している。</p> <p>・建物の状態により付随する作業が発生したりするので、業者に現場を確認してもらい、適正に見積もりしてもらうことが必要であるので実施した。</p> <p>・「航空自衛隊標準契約条項、工事請負契約条項及び適用契約条項」が別に作成されている。</p> <p>・規定されている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>4〔PCB処理〕 (随意契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%の落札率になっているのはなぜか。 ・本件は契約相手方について選択の余地がないのではないか。 ・単価は、このまま据え置きになるのか。 ・民間ではPCBが適正に処分されていない事例が多々あると聞いており、自衛隊が適正に処理していることは良いことだと思う。 <p>5〔食器洗浄作業及び清掃作業等〕 (随意契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この契約は、個人との契約であることを認識しているか。 ・海栗島分屯基地と見島分屯基地の契約単価が違う理由、積算方法について説明されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCBは、1社のみが国から処理の認可を受け、日本で5つの事業所がある。そのため我が基地から排出される高濃度PCB処分は九州地区を担当するこの事業所1社のみである。予定価格算定においても同社の調査価格を採用せざるを得ず100%になっている。 ・そうである。 ・ホームページでも公表されているが、2,800円/kg(税抜)のため、今後消費税の増税により上がるとは予想される。 ・今後も継続していく。 ・契約相手方は個人であると認識している。 ・この作業は食器洗浄機を使用しており、その機械能力に応じて各作業区分の作業時間を算出し、その時間に最低賃金を掛け直接人件費を算出している。それに諸経費を積み上げて単価を算出している。単価が違う理由は、県の最低賃金が違う、食器洗浄機の能力が違う及び洗浄する食器数が違うからである。

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・作業員は基地に常駐しているのか。	・常駐していない、仕様書に記載している作業時間以外は基地内の待機室にいるか、基地外に出るかは作業員に任せている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0件	(審議概要) 該当案件なし
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	